

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 寺崎電気産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6637 URL <https://www.terasaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 寺崎 泰造

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室室長 (氏名) 那須 修三 TEL 06-6791-2701

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日—

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	38,184	21.2	3,281	90.7	3,899	80.4	3,053	136.0
2023年3月期第3四半期	31,502	13.7	1,720	71.0	2,161	82.3	1,293	97.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,901百万円 (143.9%) 2023年3月期第3四半期 1,599百万円 (52.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	234.33	—
2023年3月期第3四半期	99.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	63,814	44,199	69.3	3,392.38
2023年3月期	59,943	40,629	67.7	3,114.96

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 44,199百万円 2023年3月期 40,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
2024年3月期	—	10.00	—		
2024年3月期（予想）				23.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2024年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 13円00銭 創業100周年記念配当 10円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,020	13.0	3,720	29.7	4,480	28.7	3,140	33.9	241.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想及び配当予想の修正については、本日（2024年2月13日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
なお、連結子会社であった寺崎ネルソン株式会社は、2023年9月27日に清算終了いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	13,030,000株	2023年3月期	13,030,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,070株	2023年3月期	1,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	13,028,960株	2023年3月期3Q	13,028,979株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束をする趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、世界的な金融引き締めや中国における不動産市場の停滞が下押し圧力となり、緩やかな成長となりました。

米国では、堅調な個人消費や底堅い雇用環境を背景に、景気は堅調に推移しました。欧州の主要国及び英国では、エネルギー価格高騰による下押し圧力は減っているものの、金融引き締め等により、景気は低調に推移しました。中国においては、インフラ投資に回復の兆しがあるものの、不動産市場の停滞の影響により、景気は減速しました。

わが国においては、インバウンド需要や堅調な企業業績を背景に景気は回復基調であるものの、中東地域をめぐる情勢や金融政策の変動等により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経済環境は、国内において、深刻化しつつある人手不足を背景に、高水準の企業収益を原資とした設備投資が堅調に推移しました。海外においては、一部の地域で設備投資に鈍化がみられるものの、脱炭素社会に向けた投資、DX化や省人化を目的とした投資等は継続しており、堅調に推移しました。当社の主要顧客である造船業界においては、鋼材価格や人件費の高騰を受けた船価の高止まりがみられるものの、新造船受注が好調であり、手持ち工事量は高い水準を維持しました。一方、銅をはじめとする原材料価格が高止まり状態を継続しており、製品コストへの影響が懸念されます。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）及び機器製品（低圧遮断器等）が増加したことにより、38,184百万円と前年同期比21.2%の増加となりました。営業利益は、売上高の増加に加え為替が前年同期に比べ円安水準で推移したことにより3,281百万円と前年同期比90.7%の増益、経常利益は、為替レートの変動等の影響を受け3,899百万円と前年同期比80.4%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等の調整があったことから3,053百万円と前年同期比136.0%の増益となりました。

製品別の売上高は、システム製品（配電制御システム等）が20,314百万円と前年同期比28.0%の増加、機器製品が17,869百万円と前年同期比14.3%の増加となりました。

システム製品の受注高は、前年同期を0.7%上回る25,837百万円となりました。その結果、受注残高は前連結会計年度末より5,522百万円増加し、37,152百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、上記受注高、受注残高には含めておりません。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

「日本」

船舶用システム製品の売上は、陸電供給システムが減少したものの、ばら積み船、コンテナ船及びLNG船が増加したこと等により、前年同期と比べ増加しました。

産業用システム製品の売上は、国内におけるグリーンエネルギー関連の発電プラント、海外プラント及びコージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連向けが増加したことにより、前年同期と比べ大幅に増加しました。

メディカルデバイスの売上は、臨床検査機器の一部において在庫調整の動きがあったため、前年同期と比べ減少しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスの売上は、システム製品における点検及び換装工事並びにブレーカの点検及び更新工事が堅調に推移したことから、前年同期と比べ増加しました。

以上により、システム製品全体の売上は前年同期と比べ増加しました。

機器製品の売上は、国内において過剰在庫を調整する動きがあったものの、海外においてオセアニア向け及び東アジアの船用市場向けが好調を維持したことにより、機器製品全体として前年同期と比べ増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は19,389百万円と前年同期比14.7%の増加、セグメント利益は、売上高の増加に加え物流コストの改善に努めたこと等により2,801百万円と前年同期比107.0%の増益となりました。

「アジア」

船舶用システム製品の売上は、コンテナ船、陸電供給システム及びLNG船等を中心に、前年同期と比べ大幅に増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスの売上は、移動制限の緩和に伴い修理及び換装工事等が増加したことから、前年同期と比べ増加しました。

機器製品の売上は、マレーシア国内向けが低調に推移したものの、船用市場及びシンガポール国内向けが堅調に推移したこと等により、前年同期と比べほぼ横ばいとなりました。

その結果、当セグメントの売上高は12,984百万円と前年同期比28.4%の増加、セグメント利益は1,004百万円と前年同期比30.1%の増益となりました。

「ヨーロッパ」

機器製品の売上は、欧州及び英国国内向けが堅調に推移したこと並びに中近東の一部で大型案件向けの売上があったこと等により、前年同期と比べ大幅に増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスの売上は、ブレーカの更新工事が減少したものの、船舶向けの修理等が増加したことにより、前年同期と比べ増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は5,809百万円と前年同期比29.4%の増加、セグメント利益は368百万円と前年同期比61.6%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、資産の部では、棚卸資産が前期末比1,906百万円及び受取手形、売掛金及び契約資産が前期末比1,733百万円それぞれ増加したこと等により、流動資産は前期末比2,964百万円増の45,858百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が前期末比703百万円及び投資有価証券が前期末比255百万円それぞれ増加したこと等により、前期末比907百万円増の17,955百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比3,871百万円増加し、63,814百万円となりました。

負債の部では、1年内返済予定の長期借入金が前期末比343百万円減少した一方、電子記録債務が前期末比519百万円、支払手形及び買掛金が前期末比329百万円それぞれ増加したこと等により、流動負債は前期末比744百万円増の14,809百万円となりました。固定負債は、長期借入金が前期末比412百万円減少したこと等により、前期末比442百万円減の4,806百万円となりました。

その結果、負債合計は前期末比302百万円増加し、19,615百万円となりました。

純資産の部では、為替換算調整勘定が前期末比906百万円増加、加えて、親会社株主に帰属する四半期純利益3,053百万円の計上により利益剰余金が前期末比2,766百万円増加したこと等から、純資産合計は前期末比3,569百万円増加し、44,199百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗等を踏まえ、2023年11月13日の「2024年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想および配当予想を変更しております。

詳細は、本日(2024年2月13日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,357,179	11,214,785
受取手形、売掛金及び契約資産	14,718,820	16,452,509
商品及び製品	6,270,085	6,890,743
仕掛品	4,886,887	5,837,610
原材料及び貯蔵品	3,408,835	3,744,156
その他	2,412,423	1,859,671
貸倒引当金	△159,823	△140,690
流動資産合計	42,894,408	45,858,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,140,466	10,404,545
減価償却累計額	△5,121,449	△5,407,669
建物及び構築物(純額)	4,019,016	4,996,875
機械装置及び運搬具	7,923,455	8,867,928
減価償却累計額	△6,741,333	△7,101,997
機械装置及び運搬具(純額)	1,182,122	1,765,931
工具、器具及び備品	8,545,378	8,885,321
減価償却累計額	△8,038,773	△8,256,833
工具、器具及び備品(純額)	506,604	628,487
土地	2,700,090	2,700,708
リース資産	2,089,889	2,223,228
減価償却累計額	△490,200	△674,402
リース資産(純額)	1,599,689	1,548,826
建設仮勘定	1,172,960	243,263
有形固定資産合計	11,180,482	11,884,093
無形固定資産		
その他	142,028	134,347
無形固定資産合計	142,028	134,347
投資その他の資産		
投資有価証券	443,870	698,878
退職給付に係る資産	4,610,550	4,577,508
繰延税金資産	454,327	419,296
その他	348,983	373,277
貸倒引当金	△131,621	△131,544
投資その他の資産合計	5,726,110	5,937,416
固定資産合計	17,048,622	17,955,856
資産合計	59,943,031	63,814,643

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,284,168	4,613,978
電子記録債務	4,022,456	4,542,353
短期借入金	480,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	978,000	635,000
未払法人税等	392,298	471,048
未払費用	1,956,196	1,811,524
製品保証引当金	106,943	124,102
その他	1,844,588	2,131,278
流動負債合計	14,064,651	14,809,285
固定負債		
長期借入金	1,512,500	1,100,000
繰延税金負債	1,489,326	1,510,498
退職給付に係る負債	490,471	489,861
その他	1,756,211	1,705,966
固定負債合計	5,248,509	4,806,326
負債合計	19,313,161	19,615,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	32,857,864	35,624,260
自己株式	△1,433	△1,513
株主資本合計	36,337,720	39,104,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,420	390,661
為替換算調整勘定	2,319,781	3,226,183
退職給付に係る調整累計額	1,740,861	1,478,149
その他の包括利益累計額合計	4,247,062	5,094,994
非支配株主持分	45,086	—
純資産合計	40,629,870	44,199,031
負債純資産合計	59,943,031	63,814,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	31,502,326	38,184,238
売上原価	22,882,029	27,632,656
売上総利益	8,620,296	10,551,581
販売費及び一般管理費	6,899,971	7,270,409
営業利益	1,720,325	3,281,172
営業外収益		
受取利息	76,063	125,128
受取配当金	22,656	21,204
デリバティブ評価益	116,514	—
為替差益	115,088	653,271
その他	142,641	127,468
営業外収益合計	472,964	927,073
営業外費用		
支払利息	30,932	66,653
デリバティブ評価損	—	241,892
その他	702	674
営業外費用合計	31,635	309,220
経常利益	2,161,654	3,899,025
特別利益		
固定資産売却益	3,426	7,918
投資有価証券売却益	—	77,849
特別利益合計	3,426	85,767
特別損失		
固定資産除却損	20,647	5,424
特別損失合計	20,647	5,424
税金等調整前四半期純利益	2,144,433	3,979,368
法人税、住民税及び事業税	420,775	832,463
法人税等調整額	424,473	93,798
法人税等合計	845,248	926,261
四半期純利益	1,299,185	3,053,106
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,261	73
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,293,923	3,053,033

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,299,185	3,053,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,917	204,241
為替換算調整勘定	575,585	906,402
退職給付に係る調整額	△304,098	△262,712
その他の包括利益合計	300,404	847,931
四半期包括利益	1,599,590	3,901,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,594,328	3,900,964
非支配株主に係る四半期包括利益	5,261	73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	16,899,482	10,111,416	4,491,427	31,502,326
外部顧客への売上高	16,899,482	10,111,416	4,491,427	31,502,326
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,002,828	3,648,410	8,676	8,659,916
計	21,902,310	13,759,827	4,500,104	40,162,242
セグメント利益	1,353,366	771,930	227,789	2,353,086

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,353,086
セグメント間取引消去	79,270
全社費用(注)	△712,031
四半期連結損益計算書の営業利益	1,720,325

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	19,389,468	12,984,828	5,809,941	38,184,238
外部顧客への売上高	19,389,468	12,984,828	5,809,941	38,184,238
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,336,509	3,574,547	16,138	9,927,195
計	25,725,978	16,559,375	5,826,079	48,111,433
セグメント利益	2,801,063	1,004,509	368,035	4,173,608

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,173,608
セグメント間取引消去	△58,169
全社費用(注)	△834,266
四半期連結損益計算書の営業利益	3,281,172

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。